


# 全国港湾Fax通信

No. ....

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番)全国港湾18FAX第60号
(宛先) 各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長	2019年 2月22日 時 分
殿	(発信者) 全国港湾書記局 

(件名)

## 2/22 中央事前協議会の協議経過について

(本文) 1. 2月22日(金)11:00より開催した中央事前協議会は、荷主・ユーザー等が港湾地域に倉庫・物流施設を建・増設し、稼働する事案4件、革新船に係る事前協議案件は、40件(重要案件3件、2月20日までに地区に下した軽微事案37件)について協議を行った。その結果、施設案件1件、革新船案件2件について中央保留・地区先行協議とし、その他の案件について了承し、地区協議に付すこととした。尚、次回の中央事前協議会は、3月29(金)日に行い、次々回は4月25日(木)に行うことを確認した。

### 2. 報告案件について

- (1) 1月28日開催の事前協議における重要案件で中央保留、地区協議とした施設案件5件(整理番号30-540~544)について、1件(整理番号30-543)を除いて了承されたことが報告され、543については2月25日に地区協議を行うとした。
- (2) その他、施設案件として、①ロジポート大阪大正の一部をサンコーEXPRESS(株)が斟酌し運営することについて、②SOSiLA 西淀川IIの一部を賃借し、営業することについて、いずれも取り扱う貨物は国内貨物であり、海上貨物を取り扱う場合は、改めて事前協議申請を行うとした。
- (3) コンテナ船等の代替配船に係わる報告案件(1月25日~2月20日)について、邦船関係4件、外船関係44件が報告された。

3. 中央保留・地区先行協議とした施設案件は、①整理番号(30-594)鴻池運輸(株)とラサール不動産投資顧問(株)が申し入れた、大阪市大正区の「ロジポート大阪大正」の一部を借受け運営することについて、革新船の中央保留・地区先行協議とした案件は、①ワンハイラインズ(株)。インターエイシアライン(株)、OOCLが申し入れた、ワンハイラインズ(株)及びインターエイシアライン(株)にて強調配船している日本/中国/海峡地/ベトナム航路にOOCLが参加し、ワンハイラインズ航路の3隻の内1隻をOOCLが運航することについて、②ZIM Integrated Shipping Services Ltd.(以下ZIM ジャパン(株))とマースクラインASが申し入れた、マースクラインASが単独運航している、日本・極東/北米西岸航路において、ZIM ジャパン(株)との強調配船とし、マースクラインAS運航の7隻の内4隻をZIM ジャパン(株)が運航することについて、作業体制の変更があるので、地区の協議が必要と判断し、措置した。

### 4. その他について

2月13日開催の「臨時」中央事前協議会で出された、ザ・アライアンスとオー

シャンネットワークエクスプレス(株)(以下 ONE)に関する協議を行った案件で、組合側から、減船や休止する港もあり地区でもう少し精査する必要があり、本段階では了承できない旨を伝え、日港協はそれを了承した。

以上

<添付> 2月22日(金) 中央事前協議会事案